

ヒグマ保護管理方針検討会議 経過報告・今後の予定

1 H22年度 第1回ヒグマ保護管理方針検討会議の概要（平成22年6月20日開催）

（1）主な議題

- ・本検討会議の目的と検討スケジュール
- ・法律および既存計画におけるヒグマの位置付け
- ・知床半島におけるヒグマ保護管理の現状と課題
- ・知床半島ヒグマ保護管理方針（素案）の作成について
- ・北海道内におけるヒグマ保護管理に係る検討状況

（2）ヒグマ保護管理方針検討会議の設置と今後の進め方

- ・科学委員会および各WG等に所属する専門家と関係行政機関により構成する。
- ・平成22年度は現状の把握と分析を行うとともに、大まかな方針案のとりまとめを目標とする。平成23年度以降に地元関係者との合意形成を図る。
- ・適正利用・エコツーリズム検討会議等との連携に留意する。

（3）ヒグマ保護管理方針（案）の作成について

- ・知床半島のメスヒグマ個体数は150個体程度と推定される。
- ・必要な管理体制の構築、利用者の安全確保と良質な自然体験の提供、ヒグマの人慣れや軋轢の発生、ヒグマ個体群動態に係る情報の不足、ヒグマ対策活動の慢性的な発生などが課題として挙げられる。
- ・遺産地域を中心としたヒグマ地域個体群の存続、人身被害や地域産業への被害の防止、利用者の安全確保と良質な自然体験の提供の両立、海域と陸域の物質循環の担い手としての役割の維持を管理方針案の目的とする。
- ・遺産地域に生息するヒグマの行動圏を主な対象地域とする。
- ・捕獲等のヒグマ個体群の保護管理方針について検討するとともに、利用者のコントロールなどの対策についても検討する。

2 今後の主な予定

平成22年11月頃 第2回ヒグマ保護管理方針検討会議

- ・個別エリア毎の保護管理方策の目標と方向性について議論
- ・必要なモニタリング項目について議論

平成23年2月頃 第3回ヒグマ保護管理方針検討会議

- ・検討会議としてのヒグマ保護管理方針案のとりまとめ